

(様式 1-5)

金山町 地域魅力向上・発信事業計画に基づく事業 個票

令和 6 年 5 月 8 日時点

※本様式は 1-3, 1-4 に記載した事業ごとに記載してください。

N0.	1	事業名	奥会津金山の魅力発信！台湾プロモーション事業	事業番号	A-1
事業実施主体	金山町	総交付対象事業費	14,159 千円		
既配分額	8,712 千円	当該年度交付対象事業費	5,447 千円		
経費区分ごとの費用					
一 地域の魅力向上・発信事業①情報					
①情報発信事業 小計 5,447 千円					
i) 風評動向調査 千円					
ii) 体験等企画実施 3,632 千円					
iii) 情報発信コンテンツ作成 1,815 千円					
iv) ポータルサイト構築 千円					
②外部人材活用 小計 千円					
i) 企画立案のための外部人材の活用 千円					
ii) 地域の語り部の育成 千円					
二 関連施設の改修					
地域の魅力発信事業と一体的に行うための関連施設の改修 千円					
風評の払拭に関する目標					
令和 8 年度における観光入込客数 150,000 人 (平成 22 年度 90,962 人の約 1.6 倍) 内訪日外国人 4,000 人 (うち台湾人 2,400 人) (H30 年度 訪日外国人 735 人 (うち台湾人 370 人))					
事業概要					
事業実施主体	金山町				
主な企画内容	令和 5 年度：写真や動画等を用いた情報発信 令和 6 年度：台湾関係者の招聘 近隣町村と連携した PR、台北市金山區商店街での食を通じた PR。 令和 7 年度：台湾交流事業の映像コンテンツ作成、国内外の各種イベントへの参加 物産等の PR と併せた映像コンテンツでの情報発信。				
主な事業の実施場所	令和 5 年度：台湾台北市、新平市金山區 令和 6 年度：金山町ほか近隣町村、新平市金山區 令和 7 年度：国内、台北市金山區				
事業の実施期間	令和 5 年度～7 年度				
企画内容					
【現状・課題】					
<現状> 東日本大震災前は豊かな自然や日本の原風景を求めて約 10 万人の旅行者が当町を訪れていたが、東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故による風評影響により、県外及び海外からの観光客は減少していった。 その後は、農産物等のモニタリング検査やその結果の公表等、県や関係団体と一体となって風評の払拭に取り組み、徐々に観光客が戻ってきたものの、それでも震災前の水準には戻っていない。また、回復基調にある中、令和 5 年 8 月の ALPS 処理水の海洋放出による風評の影響も懸念されている。そのような中、昨年台湾において風評払拭に向けた観光等 PR 事業を台湾台北市において実施した。					
<課題> 当町を訪れる観光客は回復基調にあるものの、海外からの観光客数の割合は依然として低い状況となっている。新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザと同じ 5 類に位置づけられ、海外渡航の入国制限等の措置が解除されるなど、インバウンド需要を狙う好機であるところ、海外からの観光客、とりわけ割合の高い台湾からの観光客をいかに増加できるかが課題となっている。ALPS 処理水の海洋放出により、浜通り地域のみ					

ならず福島県全体に対する風評被害の懸念がある中で、いかに当町の魅力や当町の農産物等の安全性について情報発信を行っていくかも課題となっている。

【課題に対するこれまでの取組と成果】

R5: 取組

- (1) 「日本原風景奥会津 JR 只見線写真展」 令和 6 年 2 月 23 日～3 月 3 日まで開催
- (2) 「金山町台湾プロモーション事業」 令和 6 年 2 月 24 日開催
- (3) 「新北市金山区関係者への情報発信」 令和 6 年 2 月 23 日開催

成果

- (1) 1 日平均約 3 万人が利用する台北メトロ松山駅構内で開催することが出来多くの方に見ていただいた。フェイスブックによる開催告知に対して 3595 人のフォロワー数を獲得した、写真展に関するコンテンツへの 6,072 件の投稿があった。
- (2) レセプションでは台湾日本関係協会を始め台湾の観光関係者 7 名の出席を得、2 回に分けた PR 動画の上映会には延べ 358 人の来場者を迎えた。
- (3) 新平市金山区長を始め温泉観光協会、地方創生取組関係者等約 20 名に当町の観光の魅力について PR 出来た。

【今年度事業における具体的な取組内容】

1. 奥会津金山の魅力発信！台湾プロモーション事業（台湾観光関連従事者招聘）

実施期間：令和 6 年 9 月 20 日～9 月 24 日予定（4 泊 5 日）

実施体制：金山町、観光物産協会、金山町国際交流協会、奥会津金山道の駅、近隣町村

概算費用：1,245 千円

取組内容：台湾台北市金山区より観光関連関係者（温泉協会、青年農業者、商店街関係者、地方創生関係者、行政）12 名から 15 名を招聘し、町内観光施設を中心に、観光施設等（道の駅、ビジターセンター、酒蔵など）を含めた視察研修及び体験等（写真の撮影ポイント、そば打ち体験、マタタビ細工等）と併せて、観光施設において台湾への PR を実施する。

2. 奥会津金山の魅力発信！台湾プロモーション事業（訪台 PR 事業）

実施期間：令和 7 年 1 月 17 日～21 日（4 泊 5 日）

実施体制：8 名（金山町 2 名、観光物産協会 2 名、町議会 1 名、奥会津道の駅 1 名、金山町国際交流協会 2 名）で訪台し、イベントを実施

概算費用：2,387 千円

取組内容：台北市金山区商店街で会場を確保し、道の駅関係者を中心に、訪台メンバー全員でそばや煮染めなどの郷土料理をふるまい提供する。提供する郷土料理の説明と併せて、その他の金山町の食の魅力、温泉の魅力、自然景観の魅力を発信する（18 日、19 日）。食のイベント翌日は、台北メトロ構内において PR 活動を実施する。（20 日）

3. 奥会津金山の魅力発信！台湾プロモーション事業（PR 動画作成）

実施期間：令和 6 年 9 月 16 日～令和 7 年 3 月 14 日

概算費用：1,815 千円

取組内容：台湾観光関連従事者を当町へ招聘した際の観光施設視察・体験等の様子や本町の感想等について動画に記録する。また、当町から訪台時の食の提供や PR 活動の様子も動画に記録し、両動画を編集して台湾との相互交流と本町の様子を紹介する動画を制作し、町の HP 等を通して公開することで、観光 PR に繋げる。

【今年度事業における目標】

アウトプット

- ① 観光施設の PR 1 日
- ② 台北商店街での食の提供 200 食
- ③ 記録動画の撮影 2 回

アウトカム

- ① 台湾ブース設置 1 箇所以上
- ② 食に対するアンケート調査 160 回答
- ③ 記録動画の編集 1 本以上

【今年度、事業の実施により得られる効果】

- ・台湾の旅行関係者に実際に本町を訪問していただくことで、奥会津への関心を深めていただき、本町が安全安心な旅行先であることを理解していただける。
- ・近隣町村への訪問を行程に含めることにより、近隣町村のインバウンド誘客に関する連携強化が図られる。
- ・台北市民への奥会津に関する認知度の拡大が図られる。
- ・台湾と奥会津との継続的な交流の促進に繋がり相互交流に繋がられる。
- ・台湾プロモーション事業を通して交流が深まることにより台湾との絆が深まり総合交流が促進する。

【次年度以降の取組】

令和7年度

- ・台北市金山區で行われるイベント参加によるPR活動
- ・台湾交流事業の映像コンテンツを作成、国内の各種イベントの来場者等県外の人々に向けた情報発信を実施